






## 雨の降り方

1時間雨量	雨の強さ用語	受けるイメージ	屋外の状況
10mm ～ 20mm	やや 強い雨	ザーザーと降る。	 地面からの跳ね返りで足元が濡れる。
20mm ～ 30mm	強い雨	どしゃ降り。	 傘をさしていても濡れる。
30mm ～ 50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	 道路が川のようになる。
50mm ～ 80mm	非常に 激しい雨	滝のように降る。ゴーゴーと降り続く。	 傘は全く役に立たなくなる。
80mm ～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。

## 河川の水位情報

堤防

### はん濫発生

警戒レベル5相当

災害がすでに発生している状況です。  
命を守るための最善の行動をしましょう。

### はん濫危険水位

警戒レベル4相当

河川がはん濫するおそれのある水位

市からの避難指示に従って行動しましょう。  
避難指示が発令されていなくても、自ら避難の判断をしましょう。

### はん濫警戒水位

警戒レベル3相当

避難情報発表の目安となる水位

市から警戒レベル3が発令されましたら、  
高齢者等の方は避難を開始しましょう。

### はん濫注意水位

警戒レベル2相当

河川のはん濫の発生を注意する水位

ハザードマップで河川の洪水浸水区域や  
避難先、避難経路を確認しましょう。

### 水防団待機水位

水防団が待機する目安となる水位

### 通常水位



加西市の雨量や河川の水位情報を知りたいときは、  
兵庫県 CG ハザードマップ で確認をしましょう。  
リアルタイム情報から、雨量計や水位計の数値・  
情報を確認することができます。



## 土砂災害の種類

土砂災害は、大雨や地震などが引き金となることが多い、突発的な災害です。

ハザードマップ上では土砂災害危険箇所（崩壊土砂流出危険区域や山腹崩壊危険区域）、土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）、土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）を危険箇所として表示しています。

土砂災害危険箇所は、地質や地形などから一定の基準以上の危険度であると判定した区域です。

土砂災害警戒区域は、土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められ、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域です。土砂災害特別警戒区域は、土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害の発生形態等によって、「土石流（崩壊土砂流出）」「がけ崩れ（急傾斜地の崩壊・山腹崩壊）」「地すべり」の3種類に区分されます。下記のような状況に遭遇した場合には、平地部分まで離れるようにしましょう。土石流の場合は、流路方向より直角に離れるようにしましょう。

### 土石流（崩壊土砂流出）とは

山腹、川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって河川・溪流などを通して、水と一緒に一気に下流へと押し流されるものをいいます。



### こんな状況なら危険です

- 急に川の水が濁り、流木が流れてくる。
- 降雨が続くのに川の水位が下がる。
- 木の裂ける音や、石がぶつかり合う音が聞こえる。

### がけ崩れ

（急傾斜地の崩壊・山腹崩壊）とは

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。



### こんな状況なら危険です

- 斜面から水が湧き出す。
- 地割れやひび割れが生じる。
- 地鳴りがする。
- 斜面から土砂等がばらばら落ちてくる。

### 地すべりとは

地すべりは、特定の地質のところ粘土などのすべりやすい層の上部の土地が、地下水の影響を受け、ゆっくりと動き出す現象です。



### こんな状況なら危険です

- 地面にひび割れや段差が生じる。
- 樹木や電柱が傾く。
- 池や井戸の水が急に減ったり濁ったりする。
- 地鳴りや山鳴りがする。

## 土砂災害警戒情報が発表されたら

ハザードマップで自宅及び周辺の土砂災害箇所を確認しましょう。今いる位置が土砂災害範囲であるのなら早めに避難をしましょう。ただし、外に出ることが危険な場合は、上の階に移動して、山と反対側の部屋にるようにしましょう。

